

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（学術知共創プログラム）  
フォローアップ報告書（令和6年度）

課 題	B：分断社会の超克
研究テーマ名	偽情報と政治的分断に関する東アジア諸国を中心とした包括的研究
研究代表者	粕谷 祐子
所属機関・部局・職	慶應義塾大学・法学部・教授
フォローアップ所見	
<p>現在の世界において深刻な問題となっている偽情報と政治的分断をテーマに、本プログラムの課題の一つである分断社会の超克に正面から取り組む研究が進められている。</p> <p>令和5年度は、ほぼ計画に沿って、台湾とインドネシアの選挙に関するデータベース構築・オンライン世論調査と、偽情報に関する理論的研究の収集・検討が行われた。EU や EU 加盟諸国における対策状況を検討するための研究会を開催する計画は、アジア諸国におけるファクトチェック NGO のレポートを作成するための準備に変更されたが、これによって、研究テーマにより直接に関わる作業が進められたものと考えられる。研究対象国現地の団体や研究者とのネットワークの構築は、本研究の特色の一つとなっている。</p> <p>4つの班はもともと相互に関連するテーマで構成されており、連携し合っていると思われるが、令和5年度に開かれた全体の研究会は、キックオフミーティングを除けば、A班とB班の活動報告を行った1回のみであった。令和6年度以降は、メンバー相互の意見交換とメンバー以外の研究者との意見交換の両方を含め、研究会活動を活発化させ、研究成果の一般公開の機会も増やしていくことが望まれる。</p> <p>非常に残念なのは、ウェブサイトの開設にあたって生じたさまざまなトラブルのため、サイトの構築が大幅に遅れていることである。速やかに本研究に関する詳しい情報をサイトに掲載して発信し、随時更新することが強く求められる。それにより研究の活動状況と成果を可視化するとともに、さまざまな分野の研究者と協働しながら、研究期間終了までに研究目的を達成することが期待される。</p>	